

## 2024 年度 SV 運営委員会活動計画

### 1. 「臨床発達心理士のためのスーパービジョン」研修会

・・・・・・・・年2回（内1回は大会準備委員会との共催）

発達モデルに依拠する心理的実践の理論【基礎理論の研修】と実践を「振り返る」視点を省察する専門性【実践研修】について各1回、年2回の研修を企画する。

企画の主眼は、単にノウハウを知る専門家ではなく、理論をベースに支援の妥当性を吟味することのできる専門家になろうと考える臨床発達心理士を育成することにある。第1回目の研修は講義型であるが、第2回目は実践交流の場も設けて支部を超えた情報交換ができるように運営する予定である。

#### 第1回研修会

全国大会における大会準備委員会との共催によるシンポジウム  
「心理職の専門性を実践と理論の関係から問う」

日時 : 8月24日 9:00~10:30

会場 : 信州大学東部校舎 504 教室(216 名収容)

企画 : 全国大会準備委員会・SV 運営委員会

司会 : 木原久美子（帝京大学）、中西由里（椋山女学園大学）

話題提供者：山崎 晃（広島文化学園大学）

小林 勝年（鳥取大学）

指定討論者 本郷 一夫（東北大学 名誉教授）

#### 第2回研修会

「巡回相談において心理職が観察しながら省察する『保育をふりかえる』視点」【仮】

企画趣旨：巡回相談では、子どもの生活の場である園に出向いて保育観察や発達検査を用いて対象児をアセスメントし、支援策を検討する。今回の研修では保育観察の役割に注目して、心理職がそれをいかに活用して、保育実践を振り返る視点をどのように選び出し、保育者と共有して支援策を導き出すのかについて実践報告と実践交流をもとに学ぶ。

研修形態：実践報告と実践交流の 2 部構成で行う。

参加者は上限 40 名とし、実践交流では 4 グループにわかれる。

日時 : 13 時から受付開始、13 時 30 分から 16 時 30 分までの 3 時間（途中で休憩）

場所 : 会議室（40 名定員の部屋を 3 部屋借りる）

講師 ; 未定 都内の SV 有資格者

実践報告：13 時 30 分~14 時 50 分 1 名 臨床発達心理士スーパーバイザー

実践交流：15 時 00 分~16 時 00 分 10 名ずつの 4 グループ

報告とまとめ：16 時 00 分~16 時 30 分 ファシリテーターから各グループにおける実践交流の成果を報告する。それをふまえて、講師から次へ向けた課題等提示していただく。

各グループに委員が参加し、ファシリテーターの役割をする。

小林勝年、中西由里、奥村香澄、寶めぐみ、木原久美子、講師

2. 全国大会における SV 資格取得に関する説明会・相談会を実施

\*以下の4点のうち、4、5、6については2年計画で取り組む予定である。

3. SV 有資格者の専門領域とスーパービジョンの取り組みに関するリストの作成
  - ・研修会への派遣・災害支援・実践指導の要請に活用できるよう情報を集約することが目的
  - 災害支援に対する短期的・長期的支援の専門性を有しているスーパーバイザーの情報収集
  - スーパービジョンの取り組みに特化したアンケートの実施
4. SV の開始時に取り交わす契約書の作成（オンライン対応を含む）
5. SV の過程で生じた問題に対処するためのマニュアルを作成（倫理委員会とも関係）
6. SV の終結に関する報告書のひな形を作成（役員会で終結を把握する必要がある場合）

以上